

# 黒浜沼

黒浜沼は県の環境保全地域に指定され、黒浜沼の上沼周辺は県の緑のトラスト保全第11号地に、黒浜沼と周辺湿地・ヨシ原は、環境省により、生物多様性保全上重要な里地里山に指定されています。貴重な動植物などを観察できる黒浜沼を紹介します。

環境学習館 ☎ 764-11850



## まずは環境学習館へ

黒浜沼の自然の魅力は、歩いていただけで見落してしまうところにも存在します。環境学習館では黒浜沼周辺の生物が観察できる場所を案内する地図を配布しています。季節の見所などを確認しておくことで、より黒浜沼の自然を満喫することができます。黒浜沼周辺の自然について知りたいことがある際は、ぜひ環境学習館の職員にお尋ねください。  
開館時間 午前9時～午後5時  
※利用予約のある場合を除く。火曜日は休館。

環境学習館



黒浜沼周辺  
生きものマップ



## ホタルの里

ホタルの復活を目指して、NPO法人黒浜沼周辺の自然を大切にする会によって作られた水路では、例年7月下旬頃からホタルが観察できるようになっています。ホタルの里はイベント開催時以外でも開放されていて、水路周辺を歩くことができます。環境学習館では、希望があればザリガニ釣り用の道具をお渡ししています。水路でザリガニ釣りを楽しむことができます。アメリカザリガニはホタルの餌になるヒメタニシを食べてしまいます。子どもたちがザリガニ釣りを楽しむことで、ホタルが育つための環境を整えることにつながります。近年、黒浜沼では見られなくなってしまったハスやスイレンを栽培している水路もあります。



ヘイケホタル



ハス



## 黒浜沼周辺の自然

黒浜沼周辺は狭い範囲に沼と水田、草地、屋敷林が密接し、多くの生物が生育する環境となっています。特に、沼や水田の水路は、ヨシやガマをはじめ絶滅危惧種のジウロウスゲなどの植物が生息する貴重な湿地を生み出しています。平成20年に緑のトラスト保全地域として県の指定を受け、保全活動が進んだことで、再び確認されるようになった絶滅危惧種の植物もあります。また、140種類以上の野鳥が四季折々に飛来し、トンボも32種が確認されています。

## 生態系を守ろう

県の緑のトラスト保全第11号地に指定された当時は沼の南側はほとんどが水田で、湿地の水源となっていました。現在はその3割にも満たない状態となっています。水田の水路によって保たれていた湿地の乾燥が進み、在来種の湿性植物が減り、外来種を含め、乾燥に強い植物が増えてくるなど、周辺の環境も変化してきました。このまま沼周辺の湿地が失われていくと、生態系が崩れ保全地域などの指定も取り消されてしまう可能性があります。

市は湿地を保つために、農家と契約し、一部の土地で水田を残す取り組みを行っています。また、県やNPO法人黒浜沼周辺の自然を大切にする会により、外来種の除去や在来種の管理なども行われ、どうにか生態系が維持されている状況です。黒浜沼周辺の貴重な環境を維持していくために、まずは多くの人々がその貴重さを知ることがたいせつです。黒浜沼を歩き、豊かな自然に触れてみましょう。

## 黒浜沼周辺で見られる生き物

黒浜沼周辺で観察することができる多くの生き物のうちの一部を紹介します。

ホソミオツネトンボ



コシアキトンボ



チョウトンボ



カワセミ



ガマ



絶滅危惧種

ナガボノアカワレモコウ



ジウロウスゲ



絶滅危惧種